



何枚ぬけるかな、えい！

八雲の夏まつり実行委員長 銅坂 慎

本年は新型コロナ禍の中、早々に毎年恒例の夏まつりの開催を断念し、何か地域の子も達が明るくなれる事ができないかと思ひ、春先から会の構想を少しずつ考えてきました。ロックダウン明けの6月19日に八雲子どもデーとしての第1回目の役員会を皮切りにスタートし、今回出店して頂いた6つの団体の皆様と短期間で何度も会合を開催し議論致しました。

又、開催日についても当初予定していた10月10日、予備日の11日は台風14号の影響でやむなく中止の判断を致しましたが、関係者の間でここまで議論して、用意してきた八雲子どもデーをどうしても開催したい、という思いを結集させ、11月15日に晴天の中で八雲子どもデーを開催する事ができました。

当日は安全を確保しつつ、子ども達の沢山の笑顔を見る事ができ、非常に良い会となりました。ご協力頂いた関係者の皆様、本当に有難うございました。来年も継続するか、夏まつりに戻すのか、非常に悩ましいです・・・。



フラフープで дистанス確保



校長先生から新型コロナへの注意などを聞いてスタート



ポールでビンゴゲーム



輪投げで景品をもらおうね



慎重に、ヨーヨー釣り



一発で倒すぞ、缶たおし



景品を選ぶのも楽しいね

八雲小学校 校長 長谷 豊

2度の雨天延期を乗り越え、雲一つない秋晴れの中、八雲子どもデーが大成功のうちに幕を閉じました。子どもデーの趣旨を子供たちに伝えるとなんと330名以上の子供たちが申し込みをし、その時点で、すでに「期待度・楽しみ度」はMAX、当日も興奮の連続で、あっという間に時間が過ぎていきました。

「前の日はドキドキしてねむれなかった」「本当に楽しかった」「また、やりたい！」「来週もお願いします！」など終わった後もまだ興奮が冷めない様子でしたが、子どもたちには、「これが当たり前ではなくて、みんなのことを思ってくれる人がたくさんいる八雲だからやってもらえるんだよ。」「感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。」などと私の思いを伝えました。

八雲の子どもたちは幸せ者です。ぜひ、これからも様々な経験を積み重ねながら、この町を「我がふるさと」と感じ、この町を愛する心豊かな子どもたちに成長していってくれることを願ってやみません。

最後になりましたが、北澤会長、銅坂委員長をはじめ、八雲子どもデーにかかわってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



各利用団体の活動内容や、昨年のワイワイまつり映像も展示

今回のワイワイ文化祭は新型コロナ感染症の影響で3密を避けて子ども向けのゲーム・歌やダンスの実演を止めて、利用団体の活動を展示することになりました。

11月8日（日）、参加団体のメンバーも参加し、日頃の活動成果を展示してオープニング、青木区長も駆けつけて祝辞をいただきました。

展示は約1か月行い、昨年のワイワイまつりでの合唱や踊りなどの映像も見るできるようになっており、住区センター利用者にご覧いただきました。



熱心に展示を見学



初日に青木区長が挨拶、出展者から説明を聞く



11月8日オープニング、出展者や関係メンバーで記念撮影



射的だ しっかり狙って撃つぞ



アートバルーンをみんなにプレゼント



カードにスタンプを押して、お土産だよ！